


















■使用評価マニュアル: 北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト: CASBEE北九州\_2014(v2.0)




## 1 建物概要

建物名称	ゆめマート永犬丸新築工事	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★
------	--------------	-----	-----	--------	----	-----

## 2 重点項目への取り組み度

重点項目	得点※/満点	取り組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.3 /5	   	ふつう 
2 地球温暖化対策の推進	3.5 /5	   	ふつう 
3 豊かな自然環境の確保	2.0 /5	 	がんばろう 
4 高齢社会への対応	3.0 /5	  	ふつう 

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上		がんばろう 3 点未満	
-------	----------------	--	-----------------	---	-------------------	---

## 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル:	CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト:	CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)
1 循環型社会への貢献		スコア平均 3.3	
リサイクルに関する配慮		長寿命化に関する配慮	
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア 3.3
		Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3.6
再生クラッシュラン(路盤材)、ビニル床タイル(床材)		・空調換気ダクトはガルバニウム鋼板採用 ・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用 ・階高3.9m以上 ・壁長さ比率0.09	
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均 3.5	
省エネ・省資源に関する配慮		節水に関する配慮	
LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 4	LR2/ 1.1 節水	スコア 3
LCCO2排出率=73%			
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均 2.0	
生態系保全に関する配慮		緑化に関する配慮	
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 1	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 2
		LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 3
		<自由記述>	
4 高齢社会への対応		スコア平均 3.0	
バリアフリーに関する配慮		主な指標	
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 3	建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級 0.82 建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅: BEI値、住宅: — 0.71 外構緑化指数 0.4 % 建物緑化指数 0 %	

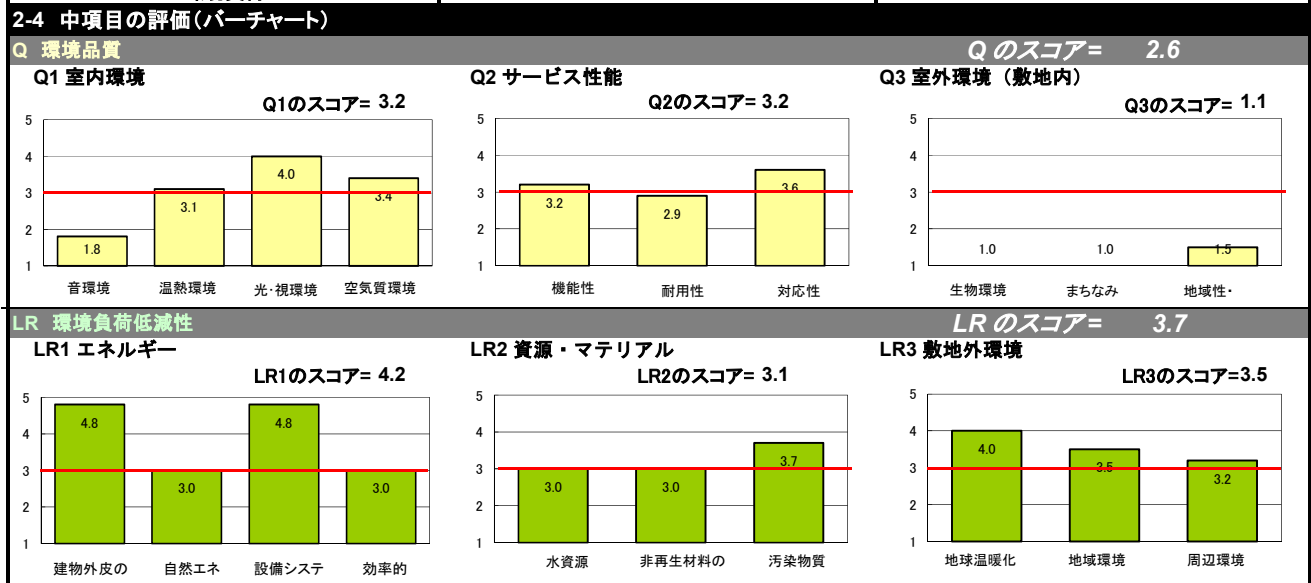
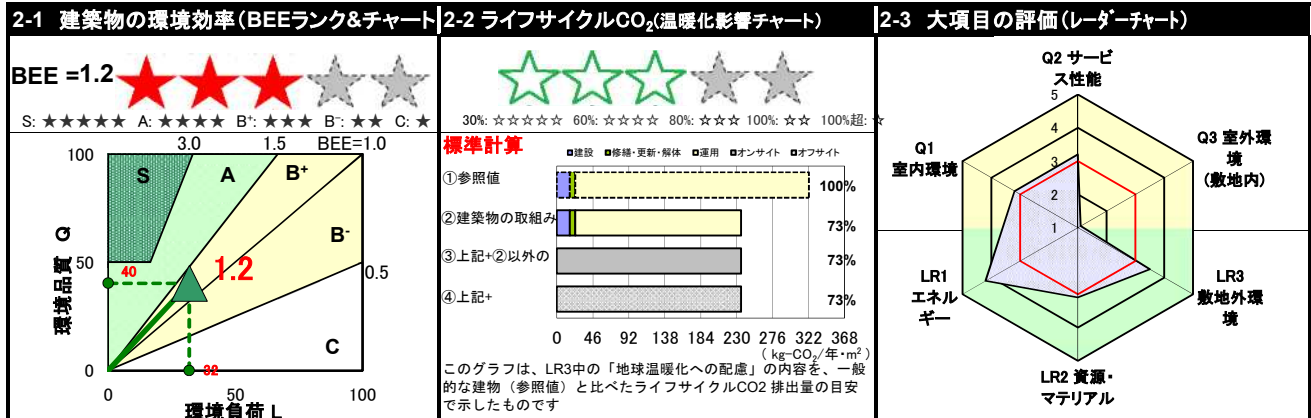
 : 入力欄

 : CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

# CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ゆめマート永犬丸新築工事	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市八幡西区八枝1丁目	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	230 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,680 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年11月26日
敷地面積	4,601 m <sup>2</sup>	作成者	松本拓也
建築面積	2,582 m <sup>2</sup>	確認日	2018年11月27日
延床面積	2,421 m <sup>2</sup>	確認者	定森淳一



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・室内環境、サービス性能への配慮を行う。 ・敷地内外環境への配慮を行う。 ・エネルギー、資源、マテリアルの確保に努めている。		その他
<b>Q1 室内環境</b> ・室温制御への配慮を行う。・点滅、調光により照明制御を行う。	<b>Q2 サービス性能</b> ・天井高を確保し、広さ感に配慮・防汚性の高い建材の採用、掃除流し設置等、建物の維持管理に配慮。・耐用年数の長い、部品部材の採用に努めている。・階高の確保に加え、壁長さ比率にも配慮。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 0
<b>LR1 エネルギー</b> ・グラスウール断熱材の採用等、建物の熱負荷抑制に努めている。・LED照明の採用等、設備システムの高効率化に努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・リサイクル材の活用に取り組んでいる。・発泡材を用いた断熱材を採用していない。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・省エネルギー性能を高め、LCCO2排出率の削減に努めている。・ガス設備の設置無し等、大気汚染防止に努めている。・チェックリスト、配慮事項の過半を満たす等、光害の抑制に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版  
ゆめマート永大丸新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>	
<b>Q1 室内環境</b>					0.40		-	<b>3.2</b>	
<b>1 音環境</b>				<b>1.8</b>	0.15	-	-	<b>1.8</b>	
<b>1.1 室内騒音レベル</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-		
<b>1.2 遮音</b>				<b>1.0</b>	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
<b>1.3 吸音</b>				<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.1</b>	0.35	-	-	<b>3.1</b>	
<b>2.1 室温制御</b>				<b>4.1</b>	0.50	-	-		
1 室温		夏季26℃、冬季22℃		4.0	0.50	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.17	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		集中管理コンローラーにより制御出来る		5.0	0.33	-	-		
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-		
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>4.0</b>	0.25	-	-	<b>4.0</b>	
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 昼光率				3.0	-	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	-		
<b>3.2 グレア対策</b>				-	-	-	-		
1 昼光制御				3.0	-	3.0	-		
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-		
<b>3.4 照明制御</b>		照明点滅・調光制御により制御		<b>5.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.4</b>	0.25	-	-	<b>3.4</b>	
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	-		
<b>4.2 換気</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	-		
<b>4.3 運用管理</b>				<b>5.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙としている		5.0	1.00	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>3.2</b>	
<b>1 機能性</b>				<b>3.2</b>	0.40	-	-	<b>3.2</b>	
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>2.6</b>	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		売場の天井高3.95m		5.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33	-	-		
3 内装計画				1.0	0.33	-	-		
<b>1.3 維持管理</b>				<b>4.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材の採用		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		掃除流し設置		4.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30	-	-	<b>2.9</b>	
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.3</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		ガルバニウム鋼板採用		4.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種がB以上、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
<b>2.4 信頼性</b>				<b>2.2</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				1.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.30	-	-	<b>3.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.09	5.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>1.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>1.0</b>	0.40	-	-	<b>1.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>4.2</b>
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI <sub>m</sub> =0.82	4.8	0.20	-	-	4.8
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.71	4.8	0.50	-	-	4.8
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	<b>3.0</b>
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン(路盤材)、ビニル床タイル(床材)	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	グラスウール、ロックウール等、発泡材を用いた断熱材を採用してい	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>4.0</b>	0.33	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.5</b>	0.33	-	-	<b>3.5</b>
2.1	大気汚染防止	ガス設備設置無し	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリスト、配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	